

令和7年度第1回嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議

日時 令和7年10月9日（木）10:00～

場所 5A会議室

出席者

委員

副市長（○） 福祉事務所長兼社会福祉課長（○） 高齢者介護課長（○）
子育て支援課長（○） 健康課長（○） こども育成課長（○）
生活支援課長（○）

関係課長

総務課長（○） 防災対策課長（○） 産業振興課長（○）
交通政策課長（○） 市民課長（○） 総合政策課参事（○）

事務局

高齢者介護課・市民課職員
地域ケア会議活動支援アドバイザー
嘉麻市社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）

1. 嘉麻市地域包括ケアシステム推進会議委員長挨拶

2. 議題

①地域包括ケアシステム推進会議について

高齢者介護課課長補佐・・・資料より事業説明

②地域ケア会議での活動について

～ 嘉麻市地域ケア会議からの報告 ～

地域ケア会議活動支援アドバイザー・・・資料より活動報告

③第2層協議体での活動について ～ 生活支援体制整備事業報告 ～

嘉麻市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター・・・資料より活動報告

3. 質疑応答・意見交換

【総合政策課参事】

嘉麻市の地域コミュニティの推進について、嘉麻市の全体的なコミュニティ
の方向性を検討していくということで、4月から新たな部局が設置されている。

今まで地域を支えていた高齢者が支えられる側になり、支える側が圧倒的に減っていき、行政区の問題や地域の見守りなど、いろいろなコミュニティが希薄になってきている。行政区単位での活動は全国的にも限界が来ており、今後は組織的なものをどう変えていくのか検討しているところである。

自ら考え、自ら実行するという住民自治の進化再構築ということで、小規模多機能自治ということが全国的に囁かれているが、これは地域運営組織という、国が進めている組織の形成の構築のことで、行政区それぞれが活動していてもなかなか課題解決につながらないため、組織を小学校区単位等とし、課題解決を図っていくというものであり、全国的に展開されている。この地域運営組織のイメージとしては、学校区の中で、いろいろな団体を包括し、この組織の中で集約して、地域の多様な長所を生かし、補完しながら、地域課題を住民自らが事業化して解決するというものである。今後、嘉麻市においても先進地事例を参考に展開していきたいと考えている。

※先進地事例として島根県雲南市の取り組みについても報告あり。